

宮崎国際大学教育学部では第3期生が卒業します。卒業式後には後援会主催の卒業パーティーの他、教育学部卒業生が企画・運営するダンスや歌もある心に残る祝賀会が開催されます。(3ページに関連記事)



昨年度卒業式後に本学交流センターで行われた後援会主催の卒業パーティーの様子

宮崎国際大学 教育学部ニュースレター

教員養成学部の目的・目標について

教育学部長 福田 亘博



教育学部は、教員・保育者を養成する学部で、社会に優秀な教員・保育者を送り出すのが学部の評価となります。文部科学省の教員養成課程に対する評価指標に教員就職率（「正規採用と臨時的任用の合計」／学生数×100）というものがあります。本学部は3期生まではこの指標が90%を超えていますので、現在まで教育学部としての社会的責任は果たしているのではないかと思います。なお、国立大学教育学部（小学校教員養成課程）の就職率が公表されており、平均は65%前後です。

ところで、最近、本学部では教員になりたいと入学したはずの3年生以下の学生に対するアンケートによると、教員希望者が段々と減少し始めています。早晩90%以下になりそうです。学生のなかには、学校現場がブラックであることなどの風評で教員になりたいとの意思がゆらいでいる人もいます。在学生を対象としたオリエンテーション等では、民間の企業における離職率や離職した理由に比べ、教育現場は決してブラックでないことを数字で説明しています。また、すでに教員となった卒業生のコメントなどから、教員がいかによばらしい職業であるかなども説明しています。しかし、一旦、民間の企業に就職したいと決心し

た学生を翻意させるのは難しいのが現状です。

令和元年度入学生から「学校インターンシップ」という必修科目を導入しました。この科目は、教員は、授業以外でどのような業務があるか、教育現場に出向き体験させることを意図しています。本学では入学後、まず宮崎県教育委員会が主催するスクールトライアル事業で教育現場を体験し、引き続き「学校インターンシップ」を履修させ、教員の全体的な業務を体験させるように計画しています。この後、「教育・保育実習」があります。せっかく教員になりたいと入学した学生が希望通りに教員となれる一助となればと思っています。

今年度、3期生の教員採用試験現役合格率は68.8%です。次年度以降、この合格率を上回るように、教職員一同、学生の教育・指導・支援に万全を期したいと考えています。保護者の皆様方のご支援・ご協力をお願いします。

目次

教育学部の目的・目標について	1
卒業おめでとう	1
卒業生の声	2
4年生（第3期生）へのインタビュー	3
保育者養成実践講座を始動させました	3
学生による理数科学修サポート	4
入試広報部からのお知らせ	4

卒業おめでとう

教育学部教授 菅 邦男



す。仕事と遊びは相反するものと思われているからです。

ご卒業、おめでとうございます。4月から新しい人生の始まりですね。ある小学1年生は「にんげん」という詩の中で、「せんせい／にんげんは／なんのためにいきているんですか／ぼくは／たっぷりあそんで／たのしむためだとおもいます」と書きました。そう巧くはいかないよなど、誰も思いま

しかし、ある哲学者は「仕事遊び、遊びが仕事」、つまり仕事自体が遊びというレベルに達することが大事と言っています。学生時代に読んだ本の中の言葉なのですが、なるほどと思いました。

社会に出れば、多かれ少なかれ仕事上の苦しみにぶつかることと思いますが、いつかこういうレベルに達することを目指して頑張ってください。

皆さんの人生が豊かなものとなるよう祈っています。

卒業生の声

日々の充実した授業

教育学部4年 岡田 尚輝

大分県公立小学校教員内定(大分県立大分鶴崎高等学校出身)



私は、この度、大分県公立小学校教員採用試験に合格することができました。この結果は、各県の試験内容に対応させた対策講座を実施してくださった先生方をはじめ、共に励まし合い勉学に励んだ友人、家族の協力、4年間の日々の充実した授業あつての結果だと思っています。特に授業の中では、「教科教育法Ⅰ～Ⅲ」をほとんど受講し、新学習指導要領の内容や授業を行う際のポイント等を教えていただきました。私は、教えていただいたことを生かして、授業や理数科ゼミの中で、積極的に模擬授業に挑戦しました。経験を重ねるごとに、単元の知識や授業の技術を身に付けていくことができました。また、「どうしたらより良い授業となるのか」を皆で考えたことで、一つの視点からだけでなく、多面的な見方・考え方もできるようになりました。試験対策はもちろんですが、このように日々の充実した授業を採用試験で生かすことができたと思います。

新年度から小学校教諭として、本学で学んだことを生かし、常に学び続ける姿勢を忘れずに努力していきたいと思っています。

保幼小の連携を意識した幼児教育

教育学部4年 田中 董

宮崎市職員(保育士・幼稚園教諭)内定
(宮崎県立宮崎西高等学校出身)

私は、幼い頃から夢見ていた保育教諭になることを目標に入学しましたが、入学時の説明会で、授業の取り方次第で、小学校教諭・幼稚園教諭・保育士の資格を取得することができることと分かり、小幼コースで学びました。保幼小の連携が重要視されている今、三つの資格を取得することで、より多くの知識を身に付けられるのではないかと思います。資格取得を目標に励みました。授業数が多く、きついつと感じるときもありましたが、たくさんの学びがあり、今ではよかったですと思っています。

そのなかでの大きな学びは、幼稚園と小学校に実習に行ったことです。実際を見ることで、保幼小連携の大切さと課題が分かりました。幼児が小学校での生活に馴染めるように、保育者と教師が互いに教育・保育要領等や学習指導要領を理解し合い、授業参観などの機会を設けていることを知りました。このことから、子どもの発達や学びの連続性について共通認識を持つことが重要であると感じました。この経験をふまえ、一步先まで見据えた保育や教育を行うこと、常に学び続ける姿勢を持ち続けることを胸に、4月から保育教諭として頑張りたいです。

宮崎国際大学で良かった!

教育学部4年 桐木 千賀子

宮崎県公立小学校教員内定(宮崎学園高等学校出身)



私は宮崎国際大学に入学して様々な経験をしました。中でも「公立小学校教員採用試験の受験」は私を変えた大きな経験です。私は、もともと幼稚園教諭になりたかったため、小学校教育実習や、幼稚園教育実習を経て勉強を始めました。短期間で勉強をしたので、正直焦りと、不安しかありませんでした。しかし、同じ教育学部の友人と一緒に集まって勉強することで、互いに励まし合ったり、高め合ったりして頑張ることができました。また、様々な対策講座を組んでくださったので、一人ではできない実技系の試験の対策もたくさんすることができました。

小規模の大学だからこそ密度の濃い出会いがあり、学生生活をより楽しむことができました。4年間を一言で表すと「感謝」です。先生方、教育学部3期生の友人、先輩・後輩などたくさんの人に出会えて支えられた最高の4年間でした。

4月から小学校教諭として教壇に立ちますが、宮崎国際大学で学んだことをしっかりと生かし、自分の描いている教師像に近づけるように頑張っていきたいです。

保育技術と知識を習得した4年間

教育学部4年 新盛 比奈子

恵愛こども園内定(宮崎県立宮崎南高等学校出身)



私は4年間で習得したものが大きく二つあります。

一つ目は、ピアノや手遊び、絵本の読み聞かせなどの基本的な保育技術です。授業で行うだけでなく、日頃からピアノや手遊びの練習、絵本の読み聞かせを行うことで、実習で失敗せずピアノを弾くことができたり、手遊びや絵本を使ってスムーズに活動に入ったりできました。今後も、自分の弾ける曲や手遊びのレパートリーを増やしていけるよう努力していきたいです。

二つ目は、発達段階の違いや、年齢に合った支援方法などの基礎知識です。授業における、先生方の丁寧なご指導を通して、保育に関する基礎知識の理解を深めることができ、指導案を作成する際などに、発達段階を意識した活動や援助を考えられるようになりました。これから、保育教諭として大学生活で習得したことを生かし、今後も成長できるよう頑張りたいと思います。

卒業おめでとう

宮崎国際大学マスコット
キャラクター ミック

4年間の思い出や宮崎国際大学の良さ、卒業式後に予定している祝賀会について話していただきました

1. 大学生活で楽しかったこと・一番の思い出

高良: 4年生時の大学祭の最後の打ち上げ。あれが4年間で一番楽しい時間だった。

岩橋: 学祭の打ち上げ楽しかったね。4年生男子で焼き鳥の模擬店を出店したけれど、一日目に不調だったから、その夜反省会と二日目に売れるための作戦会議をした。次の日、役割分担を明確にして、効率化を図ったら、3倍の売り上げを達成した。あの二日間は本当にすごく楽しかった。

原田: 男子頑張っていたよね！私は毎日が思い出かな。毎日が充実していました。

2. 大学生活でつらかったこと・大変だったこと

原田: 4年生が一番つらかった。教員採用試験(以下、教採)に向けて人生で一番勉強した年だったし、卒業論文(以下、卒論)においては、泣きながら一生懸命やったから、4年生が一番大変だった。それでも、きつさの中に充実感を見いだせた良い一年だった。今は経験談として、振り返って「楽しかった」と言える。

岩橋: 僕は、ないかな。

原田・高良: ない! ?

岩橋: うん。実習も教採も卒論も大変だったけど、全部がきつかったわけではない。楽しいこともあれば、つらいこともあって、でも結果的には、夢のために、自分のためになっているから、苦ではなかったかな。

高良: かつこいい！僕のつらかったのは、2年の後期。20歳になる年で、いろんな出来事が重なったし、授業もハードだったから、毎日擦り切れそうな思いで過ごしていた。

3. 国際大のよさ

原田: 仲間意識や結束感が他の大学と比べて大きいし、強いと思う。小規模校だから、先生との距離の近さと良い仲間との出会いがあるところが、宮崎国際大学(以下、MIC)のよさかな。この大学は目標をもって学び続ける人がたくさんいるので自分も高い目標を持って頑張ることができた。すごく良い大学だと思う。

岩橋: 確かに。僕は、人前で話すという経験が得られたところ。それが教採に生きた。あと、教員になるなら、MICがいいと思う。教員を目指す環境としては、一番だと思う。

高良: そうだね。それと国際大学の教育学部のいいところとしては、頑張り屋が多いし、頑張っている人は認められる、頑張っているということを誰かしらが評価してくれる環境になっている。この大学は小さい大学だからこそ、どんな人でも受け入れられる環境にあると思う。僕のように県外出身の者にとっても、馴染みやすくて、いい大学だと思う。

4. 祝賀会について

原田: 祝賀会は、一人一人が先生方に「ありがとうございました」という場だと思う。たった一言かもしれないけれど、その一言に感謝の気持ちを込めて、それが届く会にしたいと考えている。現在、会長としてやっているけれど、みんながサポートしてくれるから、お互いに感謝を伝え合えるし、みんなの思いが一つになっているという一体感がある。先生たちがすごく楽しみにしてくれているみたいで、私たちもすごくやりがいがある。

岩橋: それと祝賀会だけではなくて、文集とかアルバムとか、最後の思い出を作っていこうという会でもあるよね。

原田: そうだね。みんなと支え合って、改めて関わられる場になっているよね。

高良: 今回の祝賀会で実行委員をやりたいと思ったのは、確かに先生への「ありがとう」が一番なのだけれど、もう一つある。それは、みんな(4年生)に対しての感謝の気持ちを伝えたいから。周りにたくさん支えられてきた自分だからこそ、最後の最後ぐらいみんなに感謝の気持ちを伝えたくて、今回祝賀会を手伝いたいと思った。しっかりと感謝の気持ちを伝えられるような、そんな会にできるようにしていきたい。

(卒業祝賀会は令和2年3月10日に宮崎観光ホテルにおいて開催されます)



左右3年生インタビューー岩本夏実、佐藤健志郎

中央3名4年生左から高良元大、原田結月、岩橋海人

(高良君が持つ看板は4年生男子学生が大学祭で出店した焼き鳥屋「楽」)

保育者養成実践講座を始動させました

教育学部教授 相戸 晴子

2020年度から主に教育学部幼保コース学生を対象に講座を開講する試験的試みとして、2019年度後期「保育者養成実践講座」を始動させました。この講座は、学生が授業で学んだ知識や技能をもとに、保育者としての実践的な力やより高い専門性を身に付けることを目的としています。

今年度は4回実施し、①研究保育をしていく意義(講義)、②指導案の書き方(講義・演習)、③手遊び実践の発表・研究保育や指導案についてのディスカッション(演習)、④五つの研究保育の実施と講評・ディスカッション(演習)を行いました。ディスカッションでは1~4年生がグループとなり、先輩・後輩・教員の垣根を超え、刺激を受けつつ積極的に学習する姿が見られました。

この試験的試みで手応えが得られたことから、2020年度の本格始動では、さらなる学生の専門性向上につながる講座を目指していきたいと思えます。学生の皆さん、頑張ってください！

保育者養成実践講座を受講して

教育学部2年 小川愛寧
(宮崎県立都城西高等学校出身)



今回保育者養成実践講座を受けて、保育者に必要な実践力や専門性を高めることができました。他学年の学生と一緒に講座を受けることで自分にとって良い刺激になったと思います。特に、3年生の先輩方が実習で行った研究保育の模擬

保育では、子どもへの声掛けが工夫されていたり、子どもたちが活動に興味をもてるような材料が多く準備されていたりしてとても勉強になりました。その内容はクリスマスポップアップカードの製作活動だったので、製作の前にクリスマスに関する〇×クイズを取り入れ、子どもの興味をひきつける導入などの流れを学ぶことができました。2年生は2月の下旬に初めての保育実習を控え不安でいっぱいですが、今回の保育者養成実践講座で学んだことを少しでも多く生かすことができるように頑張りたいです。

学生による理数科学修サポート！

令和元年度後期の理数科ゼミは、理数科基礎力アップと模擬授業の二本立てで進めました。理数科基礎力アップでは、4年生の清藤駿希君と岩橋海人君が数学と理科をそれぞれ担当し、後輩の学修サポートをしてくださいました。この先輩による基礎力アップサポートは、新しい試みでしたが、その効果は絶大で、後輩たちは普段の授業とは違う雰囲気の中で集中できたようです。また、二人の先輩は、苦手科目克服へのサポートの大変さを実感したようです。ぜひとも、この経験を生かし、卒業後の小学校教員としても、子どもの理数科力アップに尽力してほしいと思います。

先輩学生の理数科学修サポートは、後輩だけでなく、サポート側にも大きなメリットがあることが分かりました。これを機に、学年間を超えた学生同士の学びの場を設け、本学の学生の理数科基礎力アップを図りたいと思います。

教育学部教授 渡邊 耕二



岩橋君による理科の学修サポートの様子。清藤君と息の合ったチームティーチングで、後輩学生も集中して勉強していました。

理科への苦手意識がなくそう！

教育学部4年 岩橋 海人
佐賀県公立小学校教員内定(佐賀県立武雄高等学校出身)



私は、理数科ゼミで、理科を担当させていただきました。担当して、理科を苦手とする学生が多いことを実感しました。そこで、教員採用試験でよく出題される「水溶液」と「電流」を中心に扱い、苦手意識が少しでもなくなるように試行錯誤しました。最後の理数科ゼミでは、抜き打ちテストを行いました。テストの結果をみると、見違えるくらいに実力がアップしており、感慨深かったです。また、理科の苦手意識が減ったなどの声もあり、本当に嬉しかったです。苦手教科の問題を自力で解けたなど、小さな成功体験は教員採用試験対策にも、教員になった後にも生きてくるはずです。後輩には、今後も理数科力アップに努力してほしいと思っています。

理数科ゼミで理科を指導した経験を4月から始まる教員生活に生かしていこうと思います。

学生の意欲を高める授業づくり！

教育学部4年 清藤 駿希
大分県公立小学校教員内定(大分県立宇佐高等学校出身)



私は、理数科ゼミで数学の担当をさせていただきました。当初は、授業内容を理解してもらおうと一人で必死に説明していました。時間に追われ、早口で説明をしたため、理解しきれなかった学生は多かったと思います。それから、説明を中心とした授業から、苦手な数学に立ち向かう学生のサポートに重点を置こうと考えを改め、学生主体の学ぶ意欲を高める授業作りに切り替えました。苦手克服のために頑張る後輩の姿は私にとっても刺激的であったし、指導という点で多くの学びがありました。後輩と過ごした時間は、私にとっても大変有意義でした。

〒889-1605 宮崎県宮崎市

宮崎国際大学

電話: 0985-85-5931

FAX: 0985-84-3396

ホームページ: <http://www.ac.jp>

国際教養学部 比較文化学科
教育学部 児童教育学科



宮崎国際大学

入試広報部らのお知らせ

教育学部で **准学校心理士** が取得可能になりました！

大学見学のご案内

◆ オープンキャンパス

開催月: 7月・8月(詳細日程は決定次第本学Webサイトにてお知らせします。)

内容: 学部説明、体験授業、卒業生・在学生体験発表、学食体験、個別相談会等

◆ 週末キャンパス見学会

MICに興味はあるがオープンキャンパスまで待てない!オープンキャンパスには都合が悪くて行けない! そんな受験生と保護者のための「週末キャンパス見学会」。

開催数: 年8回 内容: 学部説明、入試相談、AO・推薦対策講座(任意)

◆ 平日見学会

オープンキャンパス・週末見学会の他にも臨時の見学会や説明会を受け付けております。ご希望の方は事前にご連絡ください。

オープンキャンパス



週末見学会



お問い合わせ

入試広報室 0120-85-5931
admissions@sky.miyazaki-mic.ac.jp